



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	16,956	22.4	261		218		219	
2020年3月期第2四半期	21,841	3.4	391	18.2	435	9.8	343	14.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 139百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 352百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.22	
2020年3月期第2四半期	17.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	21,632	9,537	44.1	487.22
2020年3月期	21,280	9,456	44.4	483.09

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,537百万円 2020年3月期 9,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		3.00	3.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

今期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	20,102,000 株	2020年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	526,954 株	2020年3月期	526,954 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	19,575,046 株	2020年3月期2Q	19,574,996 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会・経済活動が制限され厳しい環境で推移しました。徐々に経済活動の再開が進むなか、一部に景気の持ち直しの動きが見られるものの、今後における国内外での感染症拡大や長期化の懸念により、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「成長戦略」として①自社品事業の強化、②アスレチックビジネスの深化、③ライフスタイルビジネスの進化、④主力ブランドの再強化、⑤EC市場での多面的対応、⑥新事業・新商品、特に新規販路・新サービスの開発とチャレンジに取組み、「構造改革」として①利益率の向上、②経営の生産性の向上、③物流改革に取組みました。また、「体質強化」として①人財と組織の活性化、②グループの一体化に取組みました。この方針のもとグループ一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,956百万円(前年同期比22.4%減)、営業損失は261百万円(前年同期は営業利益391百万円)、経常損失は218百万円(前年同期は経常利益435百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は219百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益343百万円)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、「アスレックス」マーケットは、一部のスポーツイベントや部活動が再開されつつありますが、第1四半期会計期間における営業活動自粛等の影響が大きく、総じて苦戦しました。その中でも、コロナ禍対応商品については堅調に推移し、また、YouTube「ZETT BASEBALLチャンネル」を開設し、新商品の紹介やキャンペーンの案内などリアルタイムな情報を発信する等、ゼットファン拡大に努めました。「ライフスタイル」マーケットも同様に総じて苦戦を強いられましたが、巣籠もり消費関連商品は堅調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、外出自粛等の影響により苦戦しました。また、指定管理事業は、前期に引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は16,227百万円(前年同期比22.3%減)となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益力の高い企業体質を構築し、企業価値向上に努めました。野球・ソフトボール用品と、「コンバース」のバスケットボール用品は、部活動や各種スポーツイベントは再開されつつあるものの、第1四半期会計期間における外出自粛等の影響が大きく総じて苦戦しました。その中で、野球・ソフトボール用品は、熱中症対策の一環として8月に開催の「2020年甲子園高校野球交流試合」で使用されたホワイトカウスパイクが高評価を得ました。

この結果、売上高は100百万円(前年同期比40.1%減)となりました。

(小売部門)

小売部門は、登山用品ECサイト「PREMIUM SHOP」はインターネット販売購入者の増加が続いており、オフィシャルサイトをリニューアルしたこともあり、堅調に推移しております。店頭販売は、緊急事態宣言に伴い約1ヶ月間休業したことにより苦戦しました。

この結果、売上高は187百万円(前年同期比20.4%減)となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、緊急事態宣言に伴い約2ヶ月間休業した影響が大きく、休業期間中の休会者の復帰に努めましたが、苦戦しました。物流部門において、全国的な経済活動の制限に伴い外部受託業務の取扱い量が減少したことにより、低調に推移しました。

この結果、売上高は440百万円(前年同期比18.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は16,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が632百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が493百万円、商品及び製品が250百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ546百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が539百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は21,632百万円となり、前連結会計年度末に比べ351百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は9,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ502百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が156百万円増加したものの、電子記録債務が691百万円減少したことにあります。固定負債は2,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ773百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計年度末における純資産合計は9,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が278百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が372百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.1%（前連結会計年度末は44.4%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ632百万円増加し、3,809百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は6百万円（前年同期は1,020百万円獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少454百万円があったものの、仕入債務の減少563百万円、税金等調整前当期純損失218百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は72百万円（前年同期比45百万円減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出63百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は714百万円（前年同期比は188百万円使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出107百万円、配当金の支払額57百万円があったものの、長期借入れによる収入が900百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な算出が困難なため未定としております。今後、合理的な連結業績予想の算出が可能となった時点で速やかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,476	4,109
受取手形及び売掛金	8,008	7,514
電子記録債権	815	854
商品及び製品	3,858	3,607
仕掛品	53	68
原材料及び貯蔵品	119	157
その他	361	175
貸倒引当金	△84	△73
流動資産合計	16,609	16,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,890	2,807
減価償却累計額	△2,183	△2,071
建物及び構築物 (純額)	707	736
土地	1,228	1,228
その他	921	853
減価償却累計額	△741	△670
その他 (純額)	180	182
有形固定資産合計	2,115	2,147
無形固定資産		
その他	118	112
無形固定資産合計	118	112
投資その他の資産		
投資有価証券	1,802	2,342
長期貸付金	13	15
敷金	220	210
その他	473	464
貸倒引当金	△73	△73
投資その他の資産合計	2,436	2,958
固定資産合計	4,671	5,217
資産合計	21,280	21,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,575	5,702
電子記録債務	3,305	2,614
短期借入金	81	238
未払法人税等	16	40
未払消費税等	68	195
賞与引当金	214	199
返品調整引当金	50	45
その他	925	697
流動負債合計	10,237	9,734
固定負債		
長期借入金	—	635
繰延税金負債	294	430
退職給付に係る負債	335	345
長期未払金	11	11
その他	945	937
固定負債合計	1,587	2,360
負債合計	11,824	12,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	4,587	4,308
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,486	8,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	966	1,338
繰延ヘッジ損益	9	△2
為替換算調整勘定	8	5
退職給付に係る調整累計額	△14	△12
その他の包括利益累計額合計	969	1,329
純資産合計	9,456	9,537
負債純資産合計	21,280	21,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	21,841	16,956
売上原価	17,559	13,836
売上総利益	4,282	3,119
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	265	197
運賃及び荷造費	430	371
賃借料	136	153
役員報酬及び給料手当	1,350	1,300
貸倒引当金繰入額	13	△10
賞与引当金繰入額	325	184
減価償却費	63	66
その他	1,305	1,115
販売費及び一般管理費合計	3,890	3,380
営業利益又は営業損失(△)	391	△261
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	11
受取賃貸料	11	5
業務受託料	5	5
助成金収入	—	28
その他	17	12
営業外収益合計	63	64
営業外費用		
支払利息	0	1
売上割引	18	15
その他	0	4
営業外費用合計	19	21
経常利益又は経常損失(△)	435	△218
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	435	△218
法人税、住民税及び事業税	74	17
法人税等調整額	17	△16
法人税等合計	92	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	343	△219
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	343	△219

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	343	△219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△687	372
繰延ヘッジ損益	△7	△11
為替換算調整勘定	△3	△3
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	△696	359
四半期包括利益	△352	139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△352	139

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	435	△218
減価償却費	66	69
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△10
賞与引当金の増減額(△は減少)	126	△14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	9
受取利息及び受取配当金	△29	△11
支払利息	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	826	454
たな卸資産の増減額(△は増加)	12	196
仕入債務の増減額(△は減少)	△169	△563
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18	127
その他	△153	△61
小計	1,115	△21
利息及び配当金の受取額	29	11
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△123	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
有形固定資産の取得による支出	△42	△63
無形固定資産の取得による支出	△28	△14
投資有価証券の取得による支出	△12	△3
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	△36	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△69	△107
配当金の支払額	△96	△57
その他	△22	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188	714
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	711	632
現金及び現金同等物の期首残高	3,685	3,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,397	3,809

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。